

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 15 日 (2020.10.15)

【公開番号】特開 2019-58891 (P2019-58891A)

【公開日】平成 31 年 4 月 18 日 (2019.4.18)

【年通号数】公開・登録公報 2019-015

【出願番号】特願 2017-187673 (P2017-187673)

【国際特許分類】

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

G 0 2 B 3/00 (2006.01)

B 0 5 D 7/02 (2006.01)

B 0 5 D 1/28 (2006.01)

B 0 5 D 3/02 (2006.01)

B 0 5 D 5/06 (2006.01)

G 0 2 B 1/10 (2015.01)

【F I】

B 0 5 D 7/24 3 0 3 A

G 0 2 B 3/00 Z

B 0 5 D 7/02

B 0 5 D 1/28

B 0 5 D 3/02 Z

B 0 5 D 5/06 G

B 0 5 D 7/24 3 0 3 E

G 0 2 B 1/10

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 25 日 (2020.8.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

昇華性染料及び固体の昇華性キャリア剤を基体に塗布することで、染色用基体を取得する第一工程と、

前記第一工程によって取得された前記染色用基体を樹脂体と対向させ、前記染色用基体を加熱することによって、前記染色用基体に塗布された前記昇華性染料及び前記昇華性キャリア剤を昇華させ、前記昇華性染料及び前記昇華性キャリア剤を前記樹脂体に付着させる第二工程と、

前記第二工程によって、前記昇華性染料及び前記昇華性キャリア剤が付着された前記樹脂体を加熱することによって、前記昇華性染料及び前記昇華性キャリア剤を定着させる第三工程と、

を有することを特徴とする樹脂体の染色方法。

【請求項 2】

請求項 1 の染色方法において、

前記第一工程は、前記昇華性染料が含有された染色用インクと、前記昇華性キャリア剤が含有されたキャリア剤インクと、を印刷装置を用いて、前記基体に印刷することによって、前記染色用基体を取得することを特徴とする染色方法。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 の染色方法において、

前記第 1 工程において、前記昇華性染料及び前記昇華性キャリア剤とは前記基体に混合された状態で塗布されていることを特徴とする染色方法。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれかの染色方法において、

前記第二工程は、前記第一工程によって取得された前記染色用基体を樹脂体と非接触に対向させ、前記染色用基体を加熱することによって、前記染色用基体に塗布された前記昇華性染料及び前記昇華性キャリア剤を昇華させ、前記昇華性染料及び前記昇華性キャリア剤を前記樹脂体に付着させることを特徴とする染色方法。

【請求項 5】

染色用基体を樹脂体と対向させ、染色用基体を加熱することによって、昇華性染料及び固体の昇華性キャリア剤を昇華させ、前記昇華性染料及び前記昇華性キャリア剤を樹脂体に付着させる工程において使用される染色用基体の製造方法であって、

印刷装置のインクジェットヘッドから、前記昇華性染料を含有する染色用インクと前記昇華性キャリア剤を含有するキャリア剤インクとを基体に向けて吐出することで、前記昇華性染料及び前記昇華性キャリア剤を前記基体に印刷することで前記染色用基体を取得する第一工程を含むことを特徴とする染色用基体の製造方法。